



第6回里山夢体験～里山フィナーレ!

第6回里山夢体験には、児童生徒11名、保護者9名、ユースサポーター14名が参加しました。(教員1名が1日参加)

今回は、本年度の事業(年間6回)の最終回となることから、「挑戦～自分たちの思いを表現しよう!」をテーマに「ゲーム教室」、「俳句の小道作り」、「餅つき・餅料理コンテスト」、「冬の里山大運動会」などに挑戦しました。

3日目の「里山フィナーレ」では、最後の事業にふさわしく一年間の里山夢体験の軌跡を振り返る写真の鑑賞や色紙交換、餅料理コンテストの表彰などを行い、これまで生活を共にして

きた運営スタッフとの別れを惜しみ再会を誓う思い出深い里山夢体験になりました。

「俳句作り&俳句の小道作り」では、冬の自然を観察し、自分が感じたことや思ったことなどを五・七・五の言葉にして詠んだ俳句を短冊に書き、庭園に作った俳句の小道に展示しました。俳句には、一人ひとりの個性や感性の豊かさやうまく表現され、テーマにふさわしい活動になりました。

餅つき・餅料理コンテストでは、自分たちでついた餅を使った創作料理に挑戦し、餃子風の餅料理や味付けが工夫された鍋料理、フルーツを使った餅デザートなど、各班オリジナルの料理が出来上がりました。

また、冬の里山大運動会では、雪合戦や作戦リレー、大縄跳びなどに熱戦が繰り広げられ、中学生・高校生のリーダーシップやチームワークなど、子どもたちの意欲的な姿に成長を実感することができました。

年間を通じて支援をいただいた臨床心理士やユースサポーターのみなさんに感謝いたします。

「意欲を育む体験活動推進フォーラム」(主催:広島県教育委員会 主管:広島県立福山少年自然の家)の開催について

- 期日 平成22年2月22日(火) 午後1時20分から午後5時まで
- 場所 広島県立福山少年自然の家 大研修室
- 日程・内容 ※参加申込み:所定の「参加申込書」によりFAX又は郵送(2月16日締切り)
- 13:20 開会行事 ※参加を希望される方には、申込書を送付します。また、電話での申込み・当日受付も可能です。
- 13:30 実践発表 テーマ「意欲を育む体験活動推進事業の取組を通して」
 - ①広島県立福山少年自然の家 ②安芸高田市教育委員会 ③庄原市教育委員会
- 14:30 調査研究報告「事業参加経験者への面談による事業効果の検証」
広島大学教育学部第五類心理学系コース4年 馴田 佳央
- 15:10 シンポジウム テーマ「不登校児童生徒の自立への意欲を育む支援の在り方」
コーディネーター:広島大学大学院教育学研究科教授 岡本 祐子
シンポジスト :NPO法人これからの学びネットワーク代表 堀江 清二
尾道市適応指導教室相談員 宮本 俊二
事業参加児童生徒保護者代表 村上 祥子
ユースサポーター代表 馴田 佳央
- 16:50 閉会行事 ※フォーラムに関するお問合せは、福山少年自然の家まで!

☆第6回里山夢体験の様子!

俳句を詠む&俳句の小道作り



餅つき&餅料理コンテスト



冬の里山大運動会



☆俳句

里山は いろんなつぼみで あふれてる 美優
冬木立 子らに吹かれて 笑顔咲く あっちゃん

子どもへのアンケート調査から (第1回～第6回)

※最終日に参加している子どもがアンケート調査に回答

ユースサポーターの感想! (アンケート調査から)

■3日間の活動は楽しかったですか

	回答数	楽しかった	どちらともいえない	楽しなかった	無記入
第1回	10	8	2	0	0
第2回	13	11	2	0	0
第3回	12	12	0	0	0
第4回	10	9	1	0	0
第5回	15	15	0	0	0
第6回	10	8	2	0	0

■楽しかった活動は何ですか(1～4位の活動を多い順に掲載)

	回答数	1位	2位	3位	4位
第1回	10	フリータイム	積み木プロジェクト	バーベキュー・絵手紙	アドベンチャーラリー
第2回	13	キャンプ	森遊び(基地作り)	ダッチオープン料理	きもだめし
第3回	12	昔遊び	土器づくり	とうふ作り	フリータイム
第4回	10	フリータイム	仕事体験・森作り	土器の野焼き	組み木作り
第5回	15	ケーキ&お菓子作り	キャンドル作り・ナイト	自主企画交流会	積み木プロジェクト
第6回	10	冬の里山大運動会	餅つき&餅料理	俳句作り&俳句の小道	フリータイム

■ともだちやスタッフの人となかよく活動できましたか

	回答数	できた	どちらともいえない	できなかった	無記入
第1回	10	9	1	0	0
第2回	13	11	2	0	0
第3回	12	11	1	0	0
第4回	10	9	1	0	0
第5回	15	14	1	0	0
第6回	10	9	0	1	0

■活動の中で自分の役割を果たすことができましたか

	回答数	できた	ふつう	できなかった	無記入
第1回	10	4	5	1	0
第2回	13	7	5	1	0
第3回	12	6	5	1	0
第4回	10	5	5	0	0
第5回	15	8	7	0	0
第6回	10	5	3	2	0

■事業に参加して自分にとって何か自信になることや学びがありましたか

	回答数	あった	分らない	なかった	無記入
第1回	10	4	5	1	0
第2回	13	7	5	1	0
第3回	12	6	5	1	0
第4回	10	5	5	0	0
第5回	15	10	4	1	0
第6回	10	5	3	2	0

■事業に参加して自分にとって何が一番良かったですか(記述)

第1回 ～ 第5回	○友だちと仲良く活動することができた ○積み木で遊んだこと。○絵手紙がじょうずにかけたこと ○みんなと話せたこと ○森の中で楽しく遊んだこと ○スタッフにいろんなことを相談したこと ○ストレスを発散することができた ○みんなと久しぶりに会えたこと ○みんなと楽しくすごせたこと ○土器の野焼きで土器が割れなかったこと ○みんなと楽しく活動できた ○仕事体験で穴掘りにチャレンジしたこと ○ケーキづくりなどいろいろなことを手伝ったこと ○保護者の方と話ることができたこと ○自分から話しかけることができた ○料理で包丁を使ったこと ○友だちができた
第6回	○友だちができた ○係りの仕事が出来た ○里山でみんなの笑顔に出会えたこと ○もちつきができたこと

■活動プログラムについて

- 生活面で子どもたちが成長していると感じる。特に時間を守るとか進んで行動するなど、積極性が見られた。
- 身体を動かして遊んだり、多くの人と生活を共にすることで、自分の役割や何をすべきかということを考えることができた。
- 活動後の振り返りの時間や子どもたちにとって友だちと自由に遊べるフリータイムの重要性を感じた。
- 普段体験できないような楽しい企画が多く、自分自身も楽しめたし、子どもたちも楽しめていたように思う。

■気づき・課題など

- 子どもへの声かけなどの対応の仕方で、分らないことがあったとき、他のユースサポーターの助言や具体的なアドバイスは大変役に立った。
- 楽しく活動ができ、自分なりの課題や目標が達成できたこともあったが、事業に参加する際には、自己の体調管理には気をつけなければならないと感じた。
- 子どもが困っているときにあせってしまい、適切な言葉かけや素早く対応できなかったことが課題である。
- いけないことをしたとき、感情的ではなくきちんと怒ることも必要だと思った。(言わなければならないことはきちんと伝えること、厳しさ・やさしさなど)
- 自分自身が楽しく活動しながらも、子どもたちの様子にも気を配るということは難しいことであるが、以前よりも上手にできるようになってきた。
- 里山夢体験は、子どもたちが楽しみながら、時には“がまん”しながら活動できる良い場所だと思う。

編集・発行:意欲を育む体験活動推進事業
プロジェクト委員会事務局
広島県立福山少年自然の家
〒720-0542 福山市金江町藁江 619-2
TEL084-935-7166 FAX084-935-7179
<http://www.manabi.pref.hiroshima.lg.jp/gakusyuu/fukuyama/index.html>